

県土連 令和4年度第1回役員会 開催

5月25日、本会役員室において県土連の令和4年度第1回役員会が開催され、新役員出席のもと令和4年度一般会計収入・支出補正予算（案）や諸規程の改正などについて審議が行われました。

役員会は、楫野会長（大田市長）が議長となり議事録署名人に飯塚俊之理事（出雲市長）と塚原隆昭理事（飯南町長）を選任し議案の審議に入りました。

提出された議案（補正予算、諸規程の改正等）について事務局が説明し、その後審議が行われいずれも全会一致で了承されました。



令和4年度しまね農村災害ボランティアネット総会開催

昨年度発足し、今年2年目となる「しまね農村災害ボランティアネット」の総会が5月13日（金）、松江市黒田町の島根県土地改良会館 大会議室において会員総数106名中、56名が出席し、開催されました。

多久和会長が挨拶の後、議長となり令和3年度事業報告、会計収入支出決算報告、米山監事からの監査報告及び審議が行われました。続いて、多久和会長及び竹中副会長の退任を受け、役員を選任が行われ下記のとおり新役員が選任決定されました。



総会の様子

その後、渡部新会長が議長となり、令和4年度事業計画（案）、会費の額、徴収方法及び時期、会計収入支出予算（案）について審議され、提出された全議案が原案どおり承認可決されました。

《選任された役員は次のとおり》

会 長	島根県土地改良事業団体連合会 専務理事	渡 部 明 孝
副会長	島根県農林水産部 農地整備課長	森 山 正 人

- ◆ 県土連 令和4年度第1回役員会開催 1
- ◆ 令和4年度しまね農村災害ボランティアネット総会開催 1
- ◆ 令和4年度中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会開催 2
- ◆ 都道府県土地改良事業団体連合会等会長・事務責任者合同会議開催 2
- ◆ 令和4年度農地・農業用施設災害復旧事業研修会（Web）開催 3
- ◆ 水土里ネット島根 新規職員自己紹介 3
- ◆ 大東町山王寺で「田んぼの学校（田植え）」開催 4
- ◆ 6月の主な予定 4

中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会 開催

5月23日、山口市にて中国四国土地改良事業団体連合会協議会の総会が開催され、本会から渡部専務理事及び高橋常務理事が出席しました。

総会は当番県である山口県土連の北村会長の挨拶で始まり、高橋中国四国農政局次長、高橋山口県農林水産部長の来賓祝辞の後、中西中国四国農政局設計課長様から、農政を取り巻く状況の変化、令和4年度農業農村整備事業関係予算、土地改良事業の主な新規・拡充事項、4月に施行された土地改良法の一部を改正する法律の概要などについて説明・報告がありました。

その後議事に入り、議事では農業農村整備推進の要望、本年度の事業計画について審議が行われ、各議案とも承認されました。

議案で承認されました要望項目について、6月1日に中国四国農政局、6月中旬に農林水産省、財務省等に対して積極的な要望・提案活動を行うこととなりました。



都道府県土地改良事業団体連合会等会長・事務責任者合同会議開催

令和4年4月19日（火）に砂防会館シェーンバツハ・サポーにおいて、都道府県土地改良事業団体連合会等会長・事務責任者合同会議が行われました。

まず、全土連の二階会長、安部農村振興局次長の挨拶の後、議事に入り、令和4年度農業農村整備事業の推進について農村振興局の廣川正英技術調査官から改正された土地改良法の概要、男女共同参画の推進、農業・農村をめぐる状況の変化に対応した土地改良事業の推進についての説明がありました。

続いて、特定社会保険労務士の飯田氏からは、土地改良において『性差別から男女共同参画へ～はじめの一步～』というテーマのもと、日本が諸外国に比べ、性差別への考え方が遅れていること、働きやすい職場をつくるために柔軟な休暇制度を取り入れる重要性について講演がありました。

また、「組織の中で男女共同参画を進めるといふこと」というテーマで、清水建設(株)の西岡真帆さんからは、会長を筆頭として実際に会社で行っている男女共同参画推進のための積極的な取り組みの事例が紹介されました。

今回の会議には、全国から女性職員が多数出席し、今後の女性参画を期待させるものとなりました。



「令和4年度 農地・農業用施設災害復旧事業研修会 (Web)」の開催

5月27日(金)午前10時から、島根県庁、県出先事務所、市町村、島根県土地改良事業団体連合会(以下、島根県土連)から関係職員の出席のもと、Web会議にて令和4年度農地・農業用施設災害復旧事業研修会が開催されました。

島根県において、災害は毎年発生しており、またいつ、どこでどのような災害が起こるか予測ができません。特に昨年度は平成以降最大規模の豪雨災害が発生したこともあり、災害対応職員の早期育成が急務であることを痛感する1年となりました。本研修会は、そのような災害に対して適切に対応ができるよう、島根県が県内の災害担当者(県出先事務所、市町村)を対象として毎年行っている事務研修です。

研修の午前の部では島根県農地整備課防災グループの米山グループリーダーほか担当者により、災害発生後の事務処理や、農地・農業用施設の復旧に向けた具体的な手続きなどがテキストを用いて説明されました。また、午後からは中国四国農政局の査定官による災害復旧事業の概要説明や、査定での注意点が説明され、参加者は災害事務に関する理解を深めました。また、午後の部の後半では補助申請システム(集計版)の操作研修も実施されました。

災害対応は迅速かつ正確な事務処理が肝要です。参加者におかれましては、いつ災害が起きても対応できるよう、本研修で学んだことをぜひ今後の業務に生かしていただきたいところです。

水土里ネット島根 新規職員自己紹介

この度、水土里ネット島根に採用となりました吉山海志と申します。

出身地は隠岐の島町です。学校を卒業して以来約8年間県外で働いていましたが、島根に帰って働きたいと思っていたところ、水土里ネットの存在を知り、受験しました。

現在は多面的機能支払交付金業務を担当しています。働き始めて2ヶ月が経ちましたが、島根の土地改良事業に携われていることを実感することができ、非常にやりがいを感じているところです。熱意を持ち、地域の人々に寄り添いながら自分の職務を果たしていけたらと思っております。

まだまだ未熟で、みなさんに助けられる事ばかりですが、島根の農村、農業の発展に微力ながら尽力したいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

(所属 水土里推進グループ)



吉山海志

この度、水土里ネット島根に社会人枠採用となりました、川邊史朗と申します。

前職では、土木行政職員として様々な業務を経験してきました。その中で、技術職としてより専門的な仕事をしたい思いがあり、この度ご縁があって前職でもお世話になっておりました連合会で土地改良事業に関わることになりました。社会人ならではの視点・経験を生かすとともに、新卒時の初心に帰り、島根県の農業農村の発展のため、1日も早くお役に立てるよう精一杯努力してまいります。

(所属 西部出張所)



川邊史朗

大東町山王寺で「田んぼの学校(田植え)」開催

令和4年5月29日(日)、雲南市の山王寺地区内の棚田において、「田んぼの学校(田植えコース)」が開催されました。コロナ禍のため一般から参加者の募集はせず、人数を絞っての開催でしたが地元の農家の方を中心に、島根県や雲南市の職員、またこの地域に移住してきた方や農業に関心のある地元住民など、幅広い世代の参加がありました。

開催当日は雲一つない快晴で、絶好の田植え日和でした。参加者は地元の方のレクチャーに従って、実際の手作業による田植えを体験しました。田植えをすること自体が初め



田植えの様子

てという方もいるなかで、参加者はばばひき(稲苗をまっすぐ植えるための線を引く道具で、ばばの手を引くように優しく引くこと)、の使い方や植える感覚に悪戦苦闘しながら懸命に取り組んでいました。筆者も実際に体験しましたが、これがなかなか大変で難しい!ただ慣れてくると作業がだんだんスムーズになり、やり終えるときには「楽しかった」との声が参加者の中から聞こえてくるほど充実感がありました。ちなみに今回植えた苗は古代米と呼ばれる品種で、毎年植えているコシヒカリとは異なる品種でした。

「田んぼの学校」はコースごとに分かれ、毎年数回開催されています。今年こそコロナが終息し、秋には稲刈りコースが再開されることを期待しつつ、自分たちの手で植えた苗の成長が今から楽しみです。

6月の主な予定

開催日	行事等	開催地
6月3日(金)	ルーラル・ミーティングinしまね(R4)	出雲市
6月14日(火)	農業農村整備の集い	東京都



水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp